

エルマーのぼうけん

ルース・スタイルス・ガネット 作

ルース・クリスマン・ガネット 絵

わたなべしげお 訳

福音館書店

勇敢な男の子エルマーが空飛びりゅうの子を助ける冒険の旅を描いた物語です。娘が書いたお話に、母親が絵をつけました。ルース・ガネット親子が書いた「エルマーのぼうけん」「エルマーとりゅう」「エルマーと16ひきのりゅう」の3部作は、幼年童話の最高峰の1つとして子どもたちに読み継がれています。



エルマーのぼうけん

1963年 1100円

エルマーは、年取ったのらねこからどうぶつ島にとらえられているかわいそうなりゅうの子の話を聞き、助けに出かけました。途中で何度も動物たちにつかまりそうになりますが、そのたびに持ってきたチューイングガムや歯ブラシなどを使って危機を切り抜け、りゅうの子を無事救い出します。



エルマーとりゅう

1964年 1100円

どうぶつ島からエルマーのうちへ戻る途中、嵐にあったエルマーとりゅうは、カナリヤばかりが住むカナリヤ島に降りました。島の王様カナリヤのカン11世は知りたがりの病気にかかっており、エルマーとりゅうは病気を治すため、秘密の宝を掘り出してほしいと頼まれました。みごと王様の病気を治し、エルマーは宝を手に入れ帰宅します。



エルマーと16ひきのりゅう

1965年 1100円

エルマーを送り届けたりゅうの子がそらいろ高原のうちに帰ってみると、15ひきの家族は人間たちにほら穴に閉じこめられていました。りゅうの子はエルマーに助けを求めに行きました。話を聞いたエルマーは、計画を立て再び冒険に出ます。そして、持って行ったラッパやピストルやひもを使って、りゅうの家族を助け出します。